

島根県の経済動向

令和3年12月分

統 第 3 9 1 号 の 7
令 和 4 年 3 月 8 日

政策企画局統計調査課

一 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるが、 全体としては横ばい圏内で推移している一

生産活動は横ばい圏内の動きとなっている。雇用面と所得面では改善の動きが続いている。個人消費は横ばい圏内の動きとなっているが、一部弱含んでいる。投資動向は一部に弱い動きがみられる。

生産活動	⇒	～横ばい圏内の動き～	鉱工業生産指数（季節調整済数）は95.5で前月比で▲0.1%低下し、前年比は0.7%と2か月連続で上回った。 生産活動は、横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	⇒	～改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.55倍で前月を0.05ポイント下回った。新規求人数は16.7%と5か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は2.4%と2か月ぶりに前年を上回った。きまって支給する給与は0.2%と5か月連続で前年を上回った。 雇用面、所得面とも改善の動きが続いている。
個人消費	↘	～横ばい圏内の動き 一部弱含んでいる～	商業6業態販売額は1.6%と3か月連続で前年を上回った。新車登録台数は▲12.1%と4か月連続で前年を下回った。 個人消費は、横ばい圏内の動きとなっているが、一部弱含んでいる。
投資動向	↘	～一部に弱い動き～	建築着工床面積（非居住用）は▲18.2%と2か月連続で前年を下回った。公共工事請負金額は▲27.3%と2か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は▲23.7%と4か月ぶりに前年を下回った。 投資動向は、一部に弱い動きがみられる。
企業倒産	⇒	～倒産件数1件～	企業倒産件数は1件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は 対前年3.0%増～	銀行預金残高は、61か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は、136か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年0.3%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.0となり、前年比0.3%の上昇となった。
その他 (参考)		島根県景気動向指数（CI） （令和4年3月8日公表） 法人企業景気予測調査結果 （令和3年12月9日公表）	CI先行指数は116.0となり、2か月ぶりの下降となった。 CI一致指数は85.4となり、2か月ぶりの上昇となった。 財務省松江財務事務所が公表した現状（3年10～12月期）の景況判断BSIは、15.7%ポイントと「上昇」超に転じている。 令和3年度の設備投資計画は、前年度比12.9%の増加見込みとなっている。（製造業 ▲10.7%、非製造業 94.3%）

経 済 指 標		前年同月比（%） ただし*は除く。					
		7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	101.0	94.7	96.8	94.8	95.6	95.5
	* "（前月比）	▲ 3.7	▲ 6.2	2.2	▲ 2.1	0.8	▲ 0.1
	* "（前年同月比）	18.0	11.9	6.5	▲ 0.9	2.9	0.7
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.55	1.58	1.58	1.60	1.60	1.55
	新規求人数	▲ 2.1	13.3	19.4	0.6	14.4	16.7
	常用労働者数	1.0	1.1	1.1	1.4	1.9	1.5
	現金給与総額	4.1	4.8	0.8	1.6	▲ 2.5	2.4
	きまって支給する給与	▲ 0.5	1.7	1.0	0.6	0.1	0.2
	所定外労働時間（製造業）	56.5	44.6	18.1	9.9	24.7	19.9
個人消費	商業6業態販売額	6.9	▲ 5.1	▲ 0.4	9.7	2.8	1.6
	うち百貨店・スーパー販売額	▲ 0.9	▲ 4.2	▲ 6.4	▲ 0.6	0.5	▲ 0.2
	うちドラッグストア販売額	6.0	0.8	3.2	6.3	1.5	▲ 0.5
	うちコンビニエンスストア販売額	20.7	▲ 1.3	2.5	30.5	8.7	15.6
	乗用車新車登録台数	▲ 15.7	0.6	▲ 32.8	▲ 32.6	▲ 12.2	▲ 12.1
	出雲空港利用者数	20.4	17.6	▲ 21.0	▲ 8.9	10.6	55.3
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	133.4	▲ 52.3	▲ 2.5	156.1	▲ 17.5	▲ 18.2
	公共工事請負金額	6.9	▲ 1.5	▲ 31.0	11.6	▲ 14.3	▲ 27.3
	新設住宅着工戸数	▲ 5.8	▲ 24.1	14.9	6.6	4.0	▲ 23.7
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	1	2	0	4	1	1
	* 負債総額（百万円）	33	77	0	799	115	70
金融情勢	銀行預金残高	6.3	5.2	5.8	5.7	6.1	5.1
	銀行貸出金残高	1.6	1.4	1.7	2.4	2.7	3.0
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.0	99.8	99.8	99.9	100.2	100.0
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	118.3	117.4	114.1	113.9	119.3	116.0
	* 景気動向指数（CI一致指数）	88.5	74.6	80.3	85.1	84.8	85.4

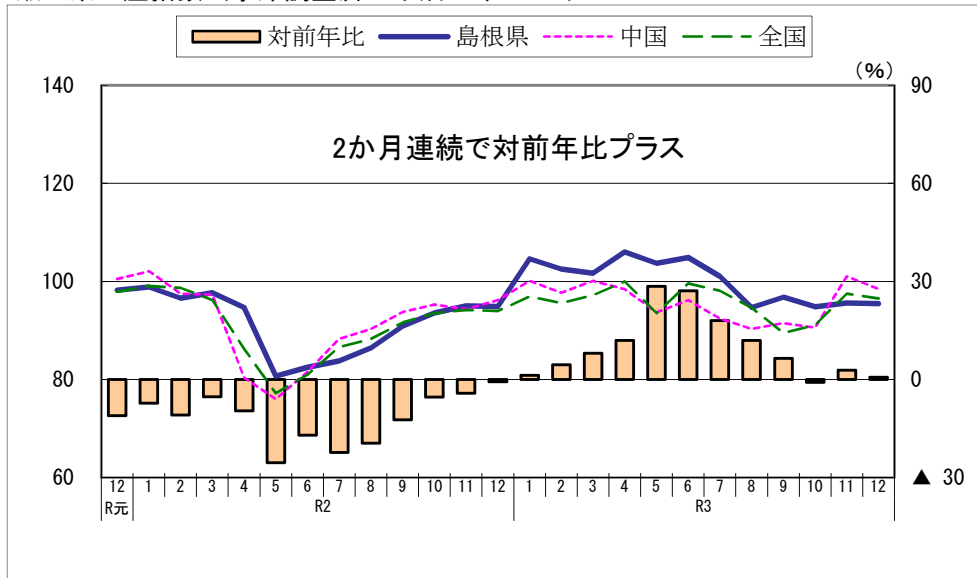
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	<p>「月例経済報告（内閣府）」令和4年2月17日</p> <p>景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、このところ持ち直しに足踏みがみられる。 設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 輸出は、おおむね横ばいとなっている。 生産は、持ち直しの動きがみられる。 企業収益は、感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している。企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられる。 雇用情勢は、感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。 消費者物価は、底堅さがみられる。 <p>先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>																							
	<p>「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 令和4年2月16日</p> <p>～ 持ち直しの動きとなっている ～</p> <p>中国地域の経済は、生産は持ち直しの動きがみられる、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、貿易は輸出・輸入ともに前年同月比で増加するなど、全体として、持ち直しの動きとなっている。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向</td> <td>…持ち直しの動きがみられる</td> <td>7. 企業倒産</td> <td>…件数は前年同月比で同数、負債総額は前年</td> </tr> <tr> <td>2. 個人消費</td> <td>…緩やかな持ち直しの動き</td> <td>8. 設備投資</td> <td>…2021年度計画は前年度を上回る見込み</td> </tr> <tr> <td>3. 雇 用</td> <td>…有効求人倍率は前月比で低下、新規求人数は前月比で減少</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 景 況 感</td> <td>…現状、先行きともに前月比で低下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 貿 易</td> <td>…輸出、輸入ともに前年同月比で増加</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 建設動向</td> <td>…公共工事、住宅建設ともに前年同月比で増加</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1. 生産動向	…持ち直しの動きがみられる	7. 企業倒産	…件数は前年同月比で同数、負債総額は前年	2. 個人消費	…緩やかな持ち直しの動き	8. 設備投資	…2021年度計画は前年度を上回る見込み	3. 雇 用	…有効求人倍率は前月比で低下、新規求人数は前月比で減少			4. 景 況 感	…現状、先行きともに前月比で低下			5. 貿 易	…輸出、輸入ともに前年同月比で増加			6. 建設動向	…公共工事、住宅建設ともに前年同月比で増加	
1. 生産動向	…持ち直しの動きがみられる	7. 企業倒産	…件数は前年同月比で同数、負債総額は前年																					
2. 個人消費	…緩やかな持ち直しの動き	8. 設備投資	…2021年度計画は前年度を上回る見込み																					
3. 雇 用	…有効求人倍率は前月比で低下、新規求人数は前月比で減少																							
4. 景 況 感	…現状、先行きともに前月比で低下																							
5. 貿 易	…輸出、輸入ともに前年同月比で増加																							
6. 建設動向	…公共工事、住宅建設ともに前年同月比で増加																							
山 陰 地 方	<p>「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2022年2月3日</p> <p>山陰の景気は、持ち直しの動きがみられている。最終需要をみると、個人消費は、持ち直しの動きがみられている。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、横ばい圏内で推移している。製造業の生産は、振れを伴いつつも、横ばい圏内で推移している。この間、雇用・所得環境をみると、弱めの動きが続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、持ち直しの動きがみられている。 住宅投資は、横ばい圏内で推移している。 設備投資は、緩やかに持ち直している。 公共投資は、横ばい圏内で推移している。 生産は、振れを伴いつつも、横ばい圏内で推移している。 雇用・所得環境をみると、弱めの動きが続いている。 																							
	<p>「山陰経済動向（株式会社山陰合同銀行）」 2022年1月31日</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響などから、生産活動は停滞傾向にあるものの、投資活動や個人消費の一部を除き、底堅さを増しており、総じて緩やかな持ち直しの動きがうかがえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共投資は、横ばい圏の動きとなっている。 設備投資は、2021年度は製造業、非製造業ともに前年度を上回り、全産業でも前年度を上回る計画（日銀短観12月の全産業設備投資額は、2020年度実績対前年度比36.2%減、2021年度計画同10.7%増）。 住宅建設は、持ち直しの兆しがうかがわれる。 個人消費は、底堅い動きがみられる。 生産は、部品や原材料の供給不足や価格上昇などによる影響が広がり、持ち直しの動きに足踏み感がうかがわれる。 雇用情勢は、一部に持ち直しの動きがみられる。 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに改善し、全産業で改善となった（前回▲9→今回4）。先行きについては、製造業は改善を見込んでいるものの、非製造業では悪化を見込んでおり、全産業でも悪化の見通しとなっている（日銀短観12月調査）。 																							
島 根 県	<p>「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 令和4年1月25日（四半期ごとに公表）</p> <p>県内経済は、感染症の影響が残るなか、緩やかに持ち直している</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費 感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある 生産活動 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている 雇用情勢 感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直しつつある 公共事業 前年度を上回る 設備投資 3年度は前年度を上回る見込み 企業収益 3年度は増益見込み 																							

経済指標の推移

【生産活動】 ～横ばい圏内の動き～

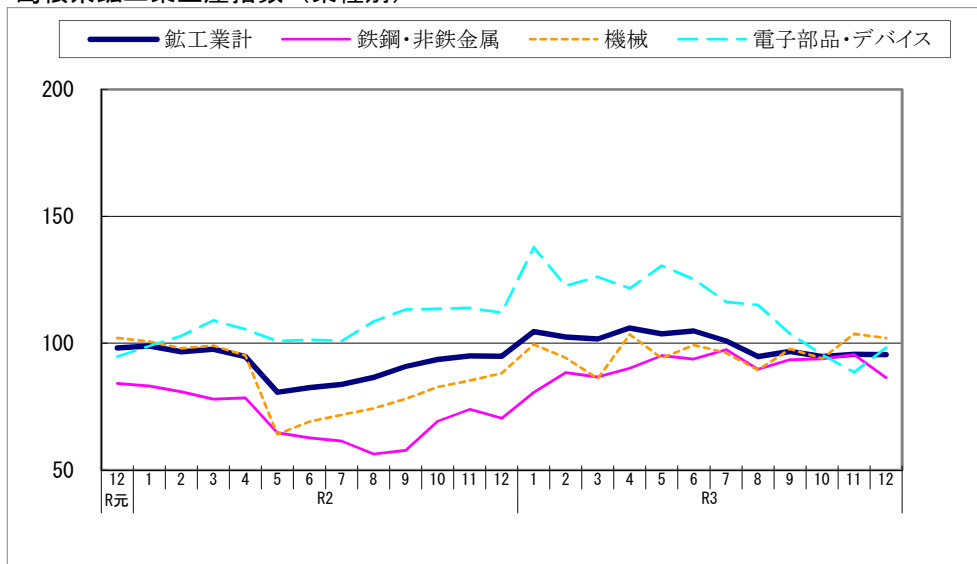
鉱工業生産指数（季節調整済 平成27年=100）



(注) 対前年比は、島根県の原指数

(県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）

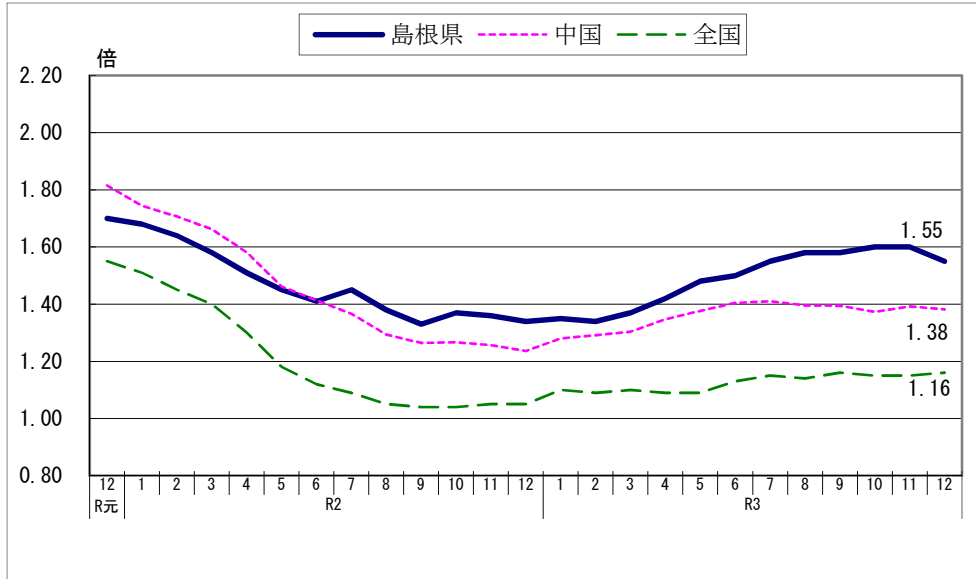


(注) 機械とは、汎用・生産用・業務用機械工業である

(県統計調査課)

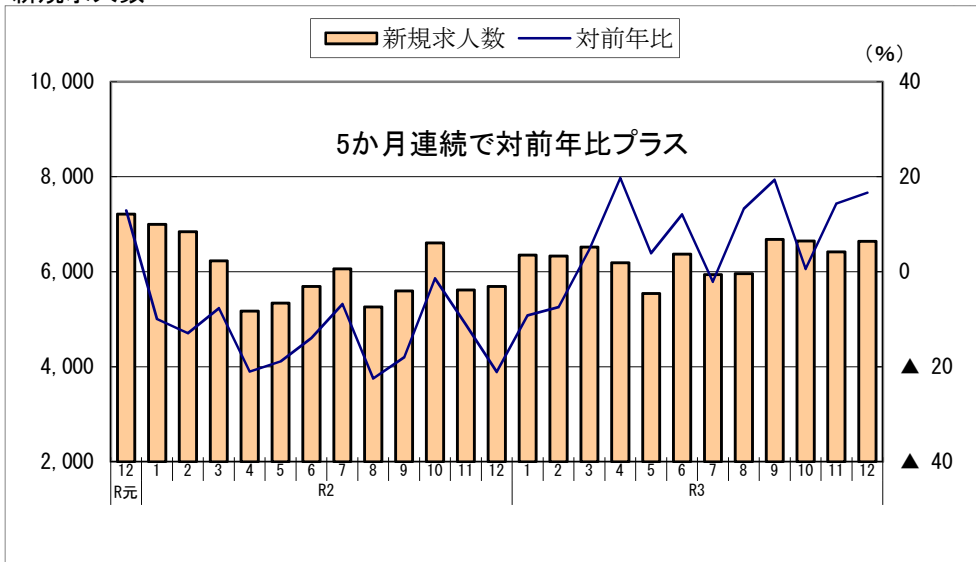
【雇用情勢】 ～改善の動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



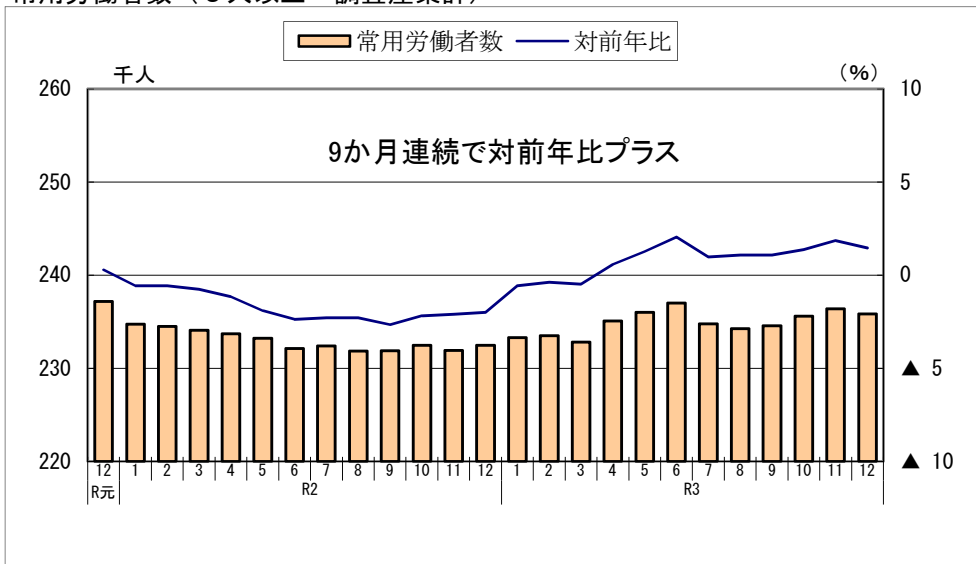
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

常用労働者数（5人以上・調査産業計）

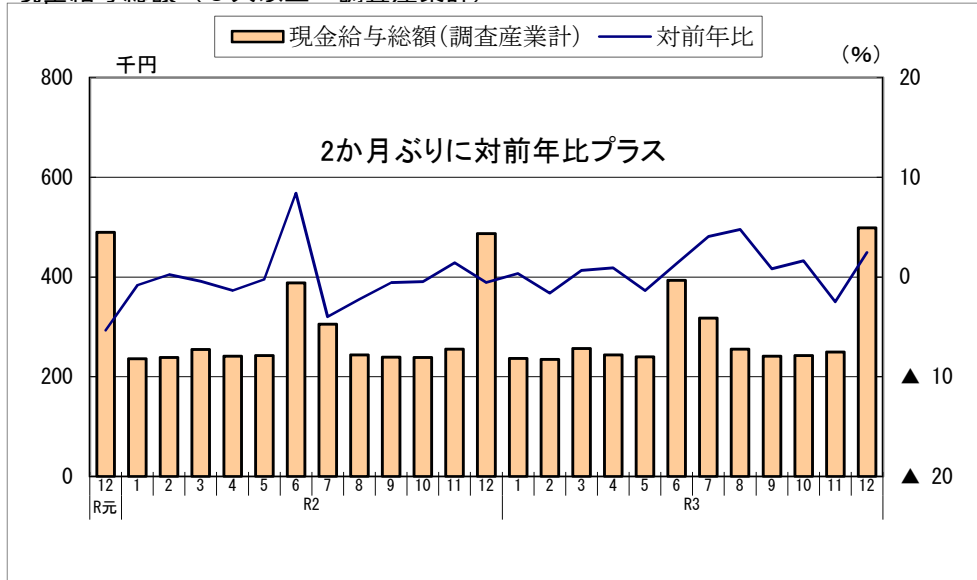


(県統計調査課)

【雇用情勢】

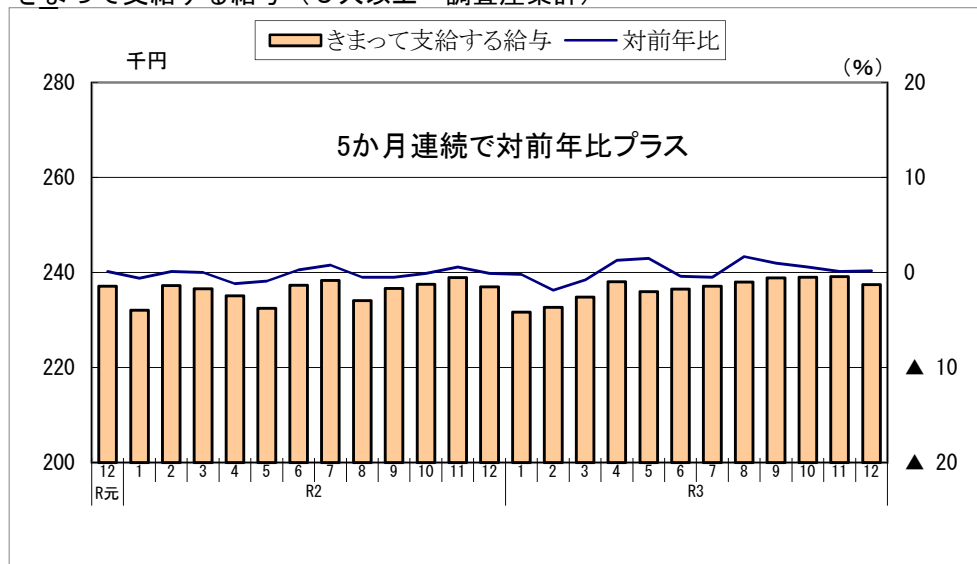
～改善の動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



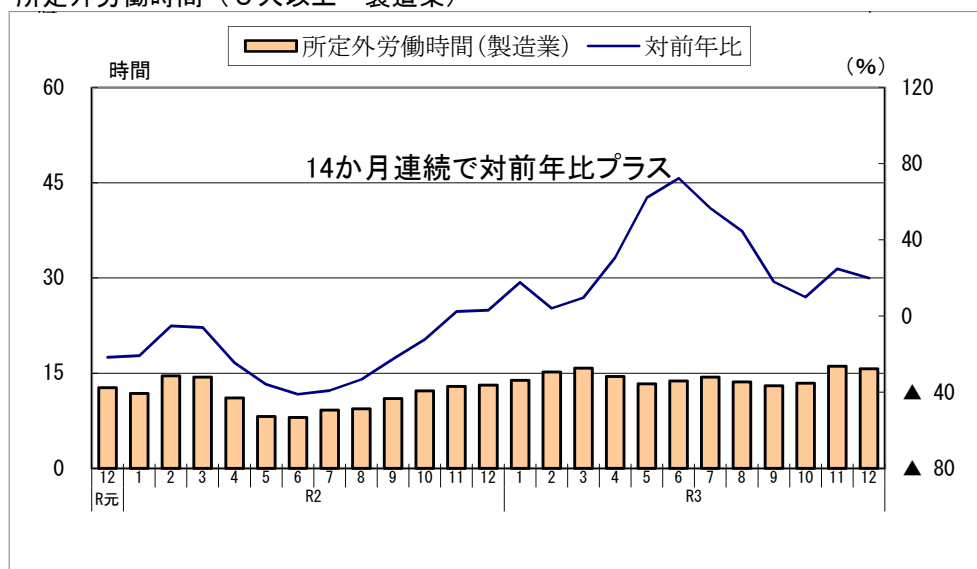
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

所定外労働時間（5人以上・製造業）

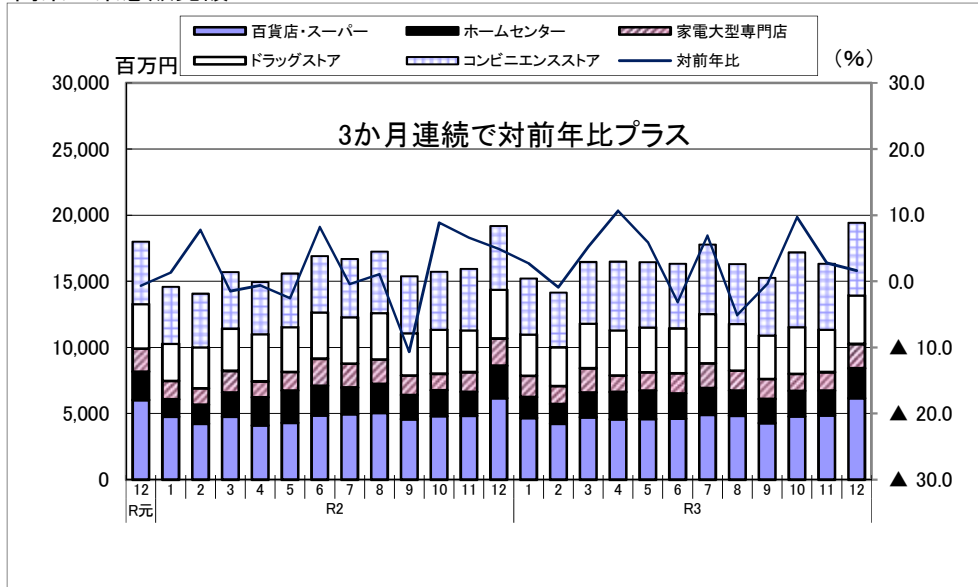


(県統計調査課)

【 個人消費 】

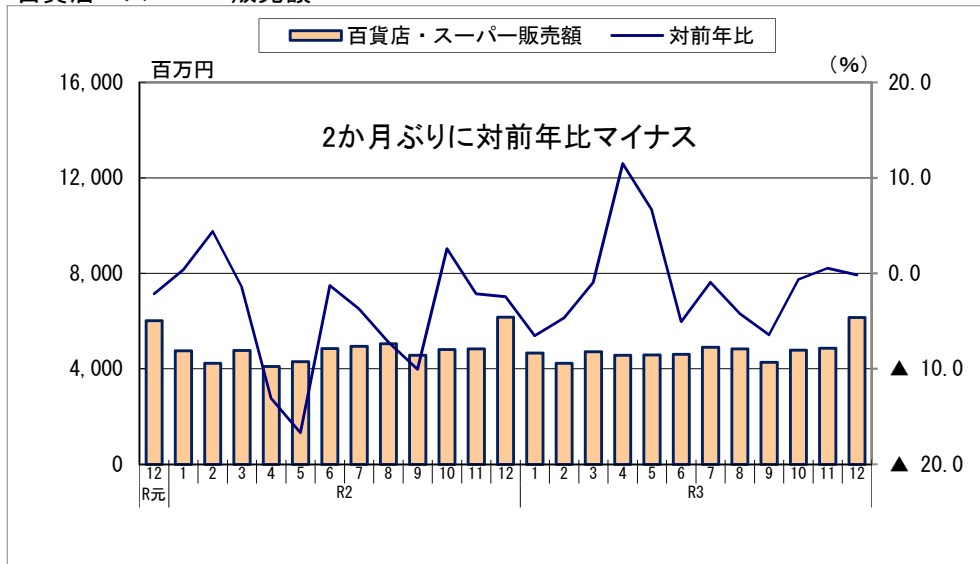
～横ばい圏内の動き 一部弱含んでいる～

商業 6 業態販売額



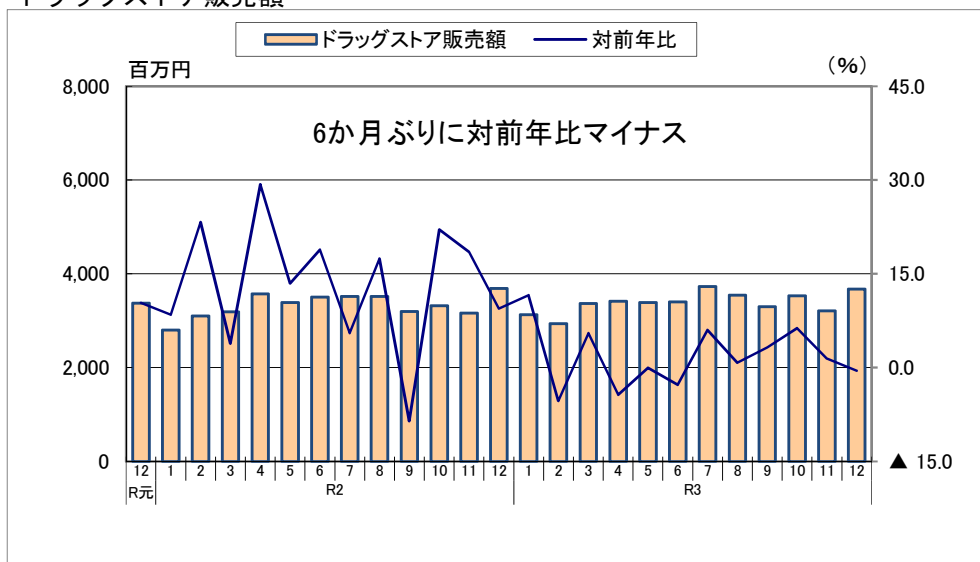
(中国経済産業局)

百貨店・スーパー販売額



(中国経済産業局)

ドラッグストア販売額

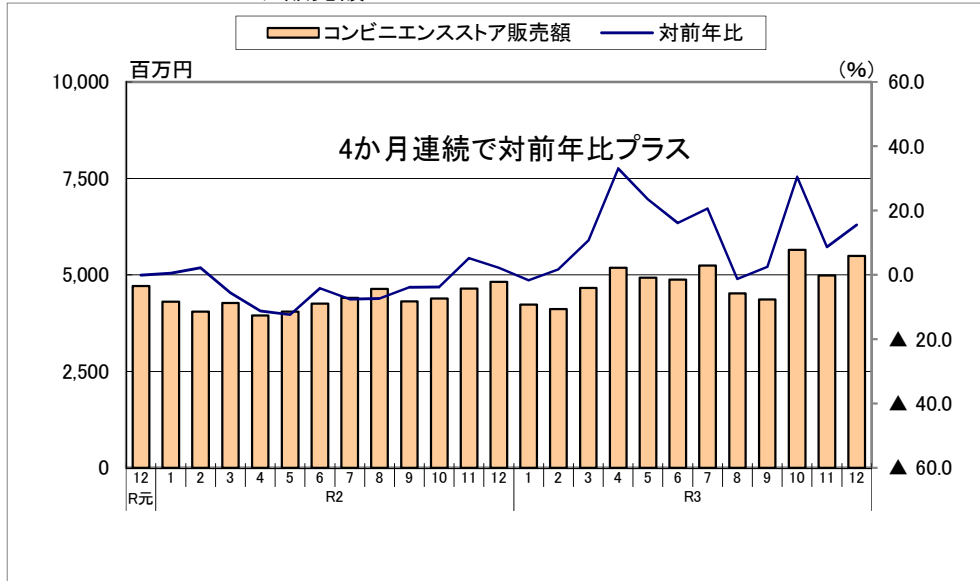


(中国経済産業局)

【 個人消費 】

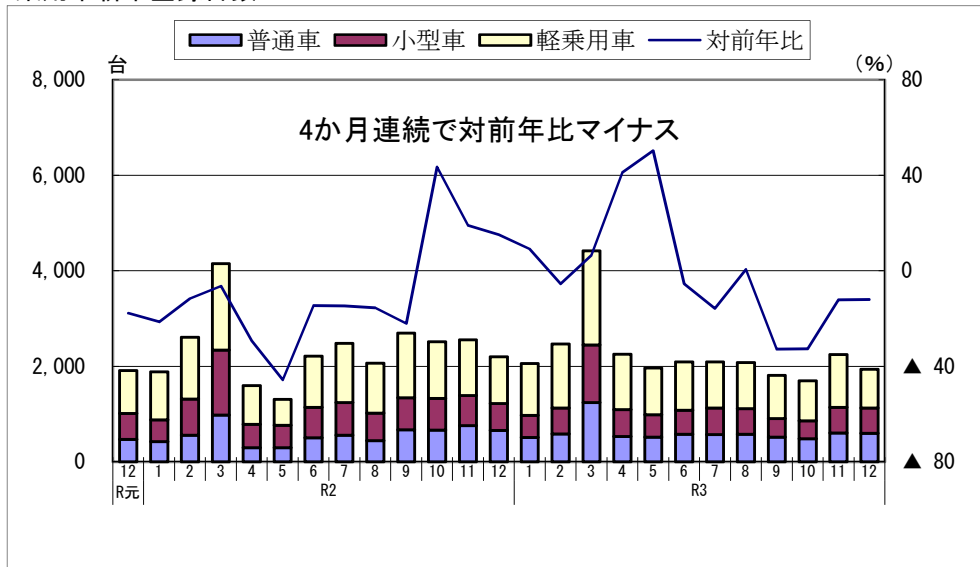
～横ばい圏内の動き 一部弱含んでいる～

コンビニエンスストア販売額



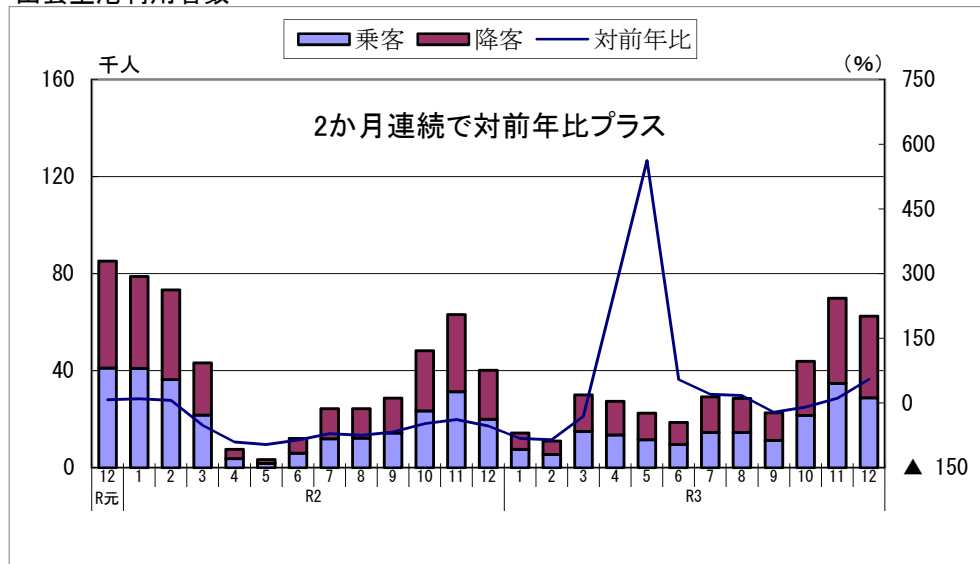
(中国経済産業局)

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

出雲空港利用者数

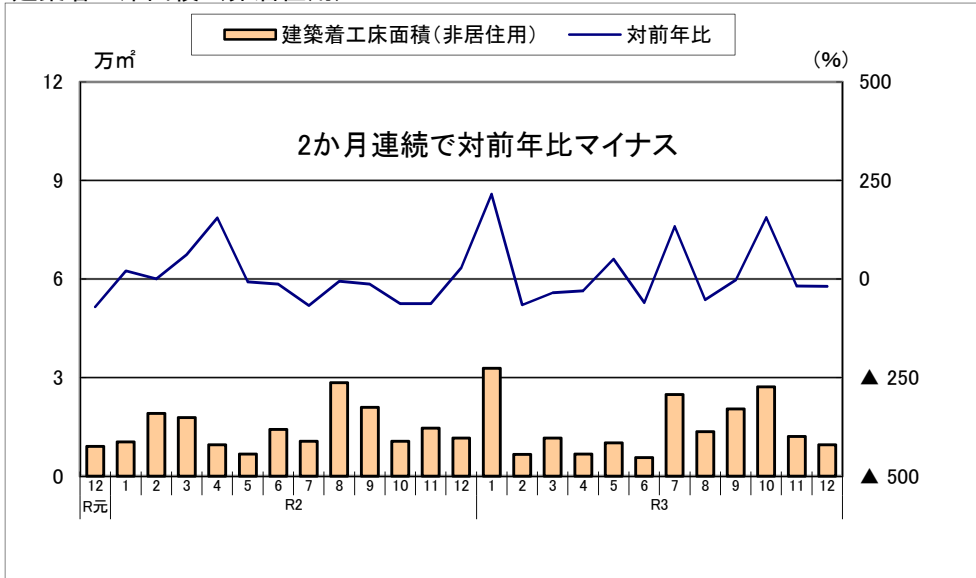


(県港湾空港課)

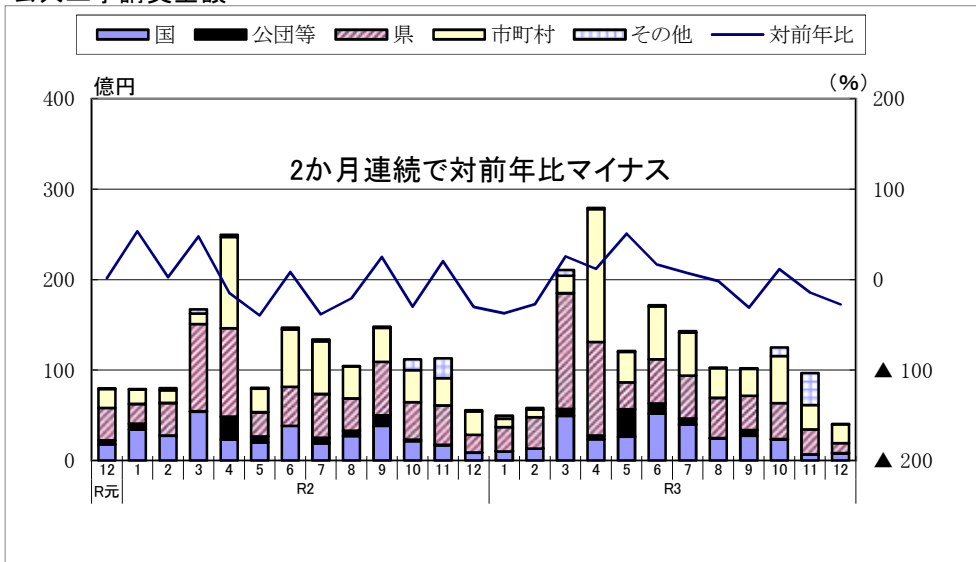
【 投資動向 】

～一部に弱い動き～

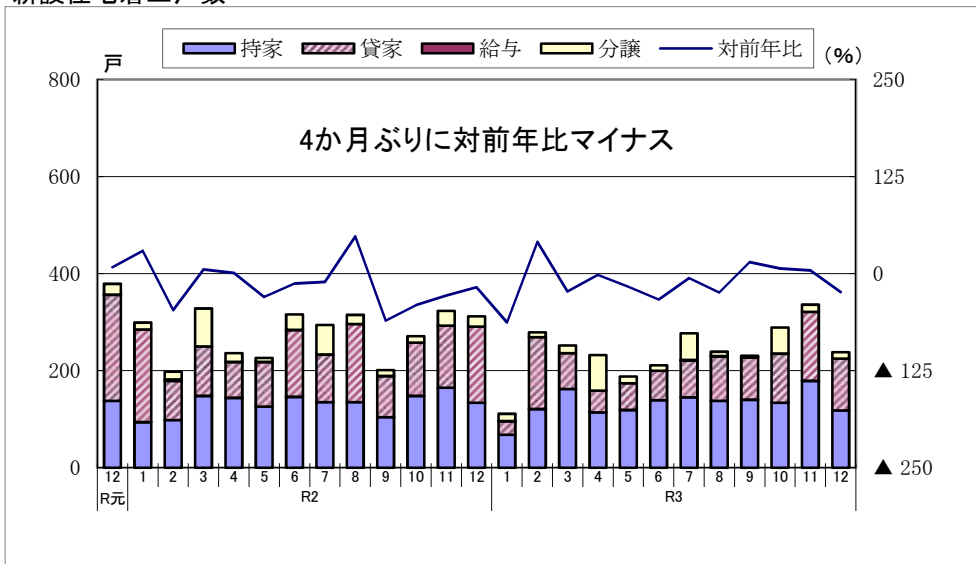
建築着工床面積（非居住用）



公共工事請負金額

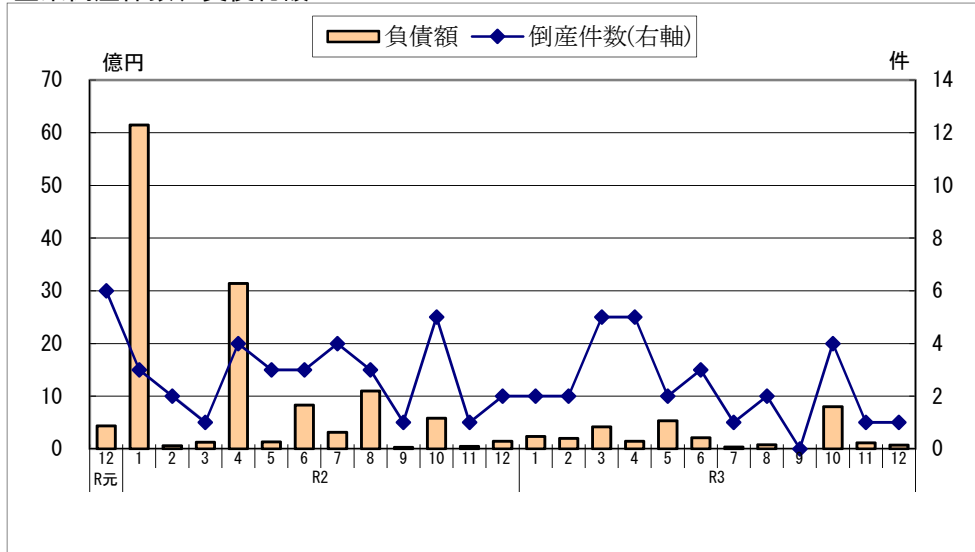


新設住宅着工戸数



【 企業倒産 】 ～倒産件数 1 件～

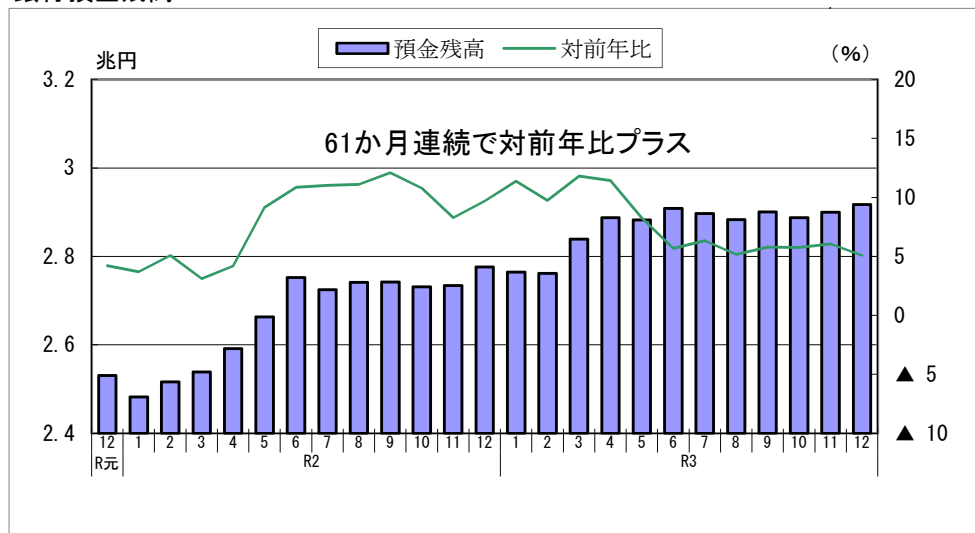
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

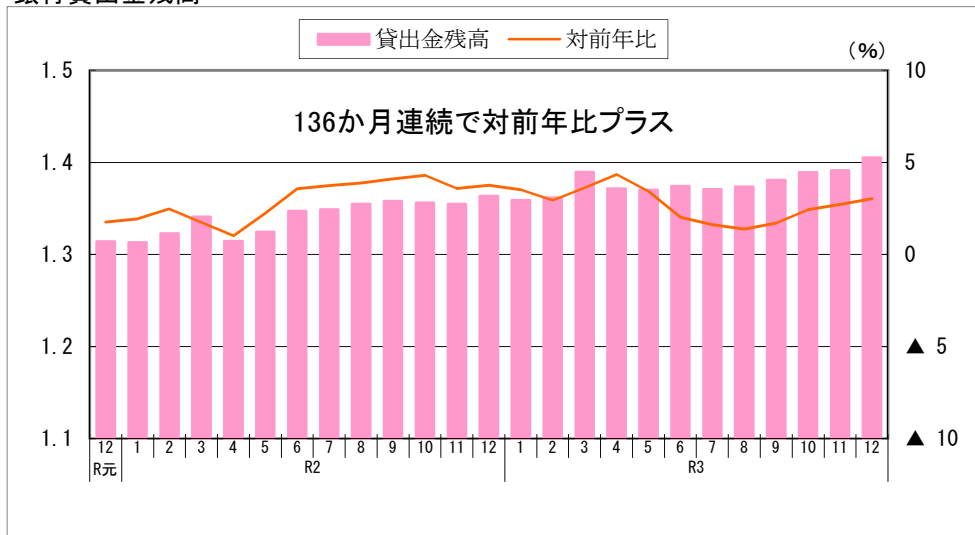
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年3.0%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

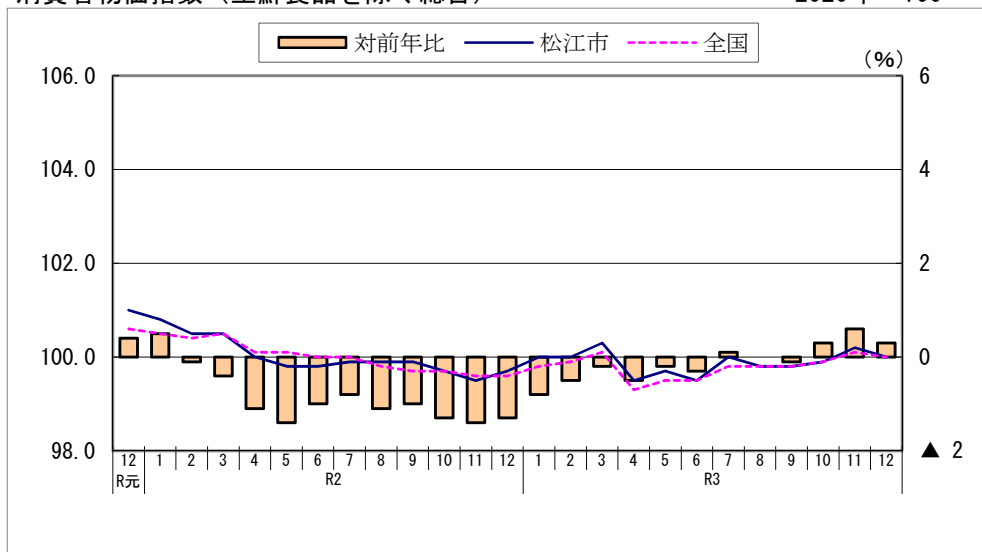
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.3%上昇～

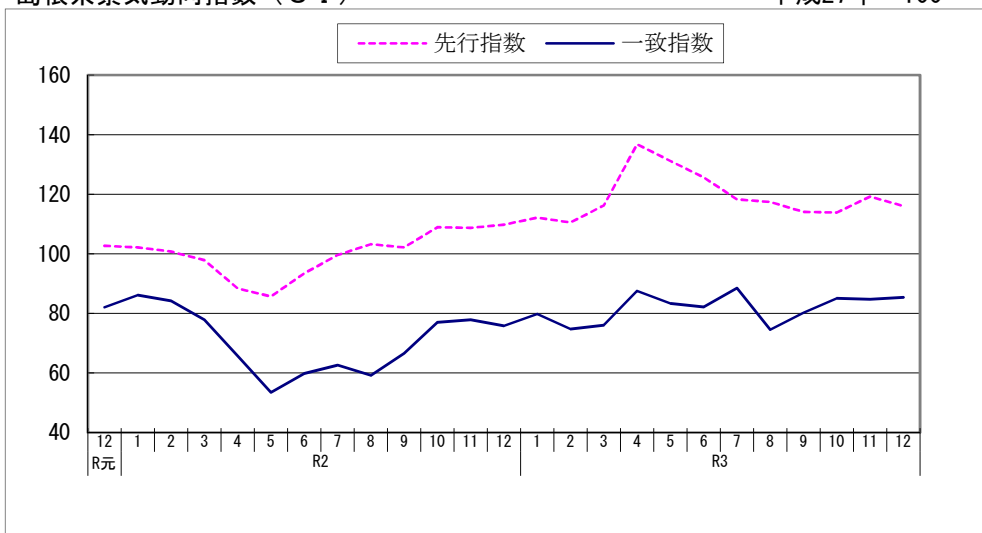
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） 2020年＝100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数（C I） 平成27年＝100



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（令和3年12月9日 財務省松江財務事務所）
令和3年10～12月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	3年7～9月 前回調査	3年10～12月 今回調査	4年1～3月 見 通 し	4年4～6月 見 通 し
全 産 業	▲ 6.9	(8.8) 15.7	(▲2.0) ▲ 13.7	▲ 1.0
製 造 業	▲ 8.3	(25.0) 11.1	(▲2.8) ▲ 13.9	▲ 25.0
非製造業	▲ 6.1	(0.0) 18.2	(▲1.5) ▲ 13.6	12.1
大 企 業	0.0	(▲28.6) 14.3	(14.3) ▲ 14.3	▲ 14.3
中堅企業	▲ 9.4	(12.5) 6.3	(6.3) ▲ 3.1	▲ 6.3
中小企業	▲ 6.3	(11.1) 20.6	(▲7.9) ▲ 19.0	3.2

※ () 書きは、前回(3年7～9月期)調査時の見通し